

## I. 利用状況(2019年度※)

※2020年度は未集計。参考数値として掲載。

### 1. 団体登録・ボランティア募集件数 (( )内は、前年度同時期の数)

#### (1) 登録団体数

登録団体総数	191 (179)
新規登録	46 ( 38)
既存登録	145 (141)

#### (2) 登録団体によるボランティア募集件数

ボランティア募集件数	153 (173)
------------	-----------

ボランティア募集の他に、ポスター掲示、チラシ配布依頼多数

#### (3) 領域別ボランティア募集件数

領域	総数
福祉	43 ( 43)
教育	38 ( 27)
環境	22 ( 26)
国際	17 ( 24)
文化・スポーツ	13 ( 18)
地域・災害	10 ( 22)
その他 ※	10 ( 13)
合計	153 (173)

☆「ボランティア情報シート」に記載したもののみの件数。募集のチラシ等の配架のみの依頼は含まれていない(子どもキャンプ、学習支援、国際協力など多数の依頼がある)。

※子どもへの企業体験プロジェクトのサポートボランティア、犯罪被害者支援ボランティアなどが含まれている。

しょうがい者支援や高齢者支援などに関する福祉系ボランティアへの募集件数は昨年同様、第1位となっている。学習支援などの教育系ボランティアも、社会的需要が高く募集件数が大幅に増えている。

他領域に関しては募集件数に偏りがなく、おおむねバランスよく学生に紹介できる環境が整っている。

## 2. 登録団体からのご意見

(2019年12月実施、団体向けアンケートより抜粋、189団体中 65団体より回答)

ボランティア参加学生に対する評価	<p>&lt;良かった点&gt; 何度もボランティアに来てくれているので、児童・生徒との関係も築けており、大変助かった。/ 企画の概要を的確に把握して、活動をしてくれた。/ 若者らしく、子どもたちに近い目線で親密に学習支援に向き合ってくれた。/ 子どものやる気を引き出す工夫が見られてよかった。/ 勉強熱心な学生が多く、ミーティングの際も積極的に質問をしてくれた。</p> <p>&lt;改善すべき点&gt; 申し込み後、連絡が取れなくなる学生がいた。/ 割と早い段階で全てを理解したつもりになって判断が浅くなってしまいう傾向にあった。/ 授業の課題でレポートを書く場合は予め相談してほしかった。/ 参加期間が短期であった。/ 直前になって「来られない」などの連絡があって困った。</p>
ボランティアセンターに対する要望	<p>学校にて団体やボランティア活動の紹介ができる機会があると非常にありがたい。/ もう少し多くの学生に参加してほしい。</p>

引き続き登録団体とコミュニケーションを密に取りながら、丁寧に対応していく必要がある。また、「ボラカフェ」につながるような学生の紹介をお願いしていきたい。

授業の単位や課題等でボランティアをする学生も増えてきているが、活動には責任が伴うことや、基本的なルールの順守を徹底することの大切さを事前にしっかり伝える必要がある。

また、学生の継続的な活動につながるよう、一人ひとりの学生にあったボランティア活動の紹介が重要である。

### 3. センター利用 【( )内は、前年度同時期の数】

#### (1)センター来所者

来所者数	3,518 (5,341)
池袋	2,256 (3,550)
新座	1,262 (1,791)

情報収集、相談・面談・打ち合わせ等でセンターを利用する学生の総数。なお、陸前高田サテライト利用者等も含まれている。減少理由は(5)のコメントを参照のこと。

#### (2)相談票記入者

利用登録者数	658 (834)
男	152 (180)
女	506 (654)

ボランティアセンター来所者の内、相談票を記入した人数。昨年度より、相談票記入者数は減少しているが、頻繁に足を運ぶ学生が多く見られた。また、ボラカフェやオリエンテーション、ボランティア講座に参加した学生の情報も登録している。

#### (3)メールマガジン・SNS 登録者

メールマガジン登録者数	3,452 (3,161)
新規登録	291 ( 409)
Twitter フォロワー数	2,404 (1,998)
Instagram フォロワー数	133

メールマガジンは、原則月2回定期的に発行している。コーディネーターのコラムやボラカフェの様子、最新のボランティア情報などを載せている。

また、より多くの情報を届けるために、今年度より学生がよく利用する SNS の Twitter に加え Instagram でもイベントの情報などを頻繁に発信している。

#### (4)センター利用動機ランキング(複数)

1	情報収集	275 (196)
2	相談(個人・国内)	251 (311)
3	ボランティア情報複写希望	188 (125)
4	相談(個人・海外)	76 ( 42)

センター利用動機の1位は、「情報収集」であり、幅広い分野のボランティア情報を探しにくる学生が多く見られた。また、学内の掲示板やボラナビを見たり、授業で紹介されたボランティアについて尋ねる学生も多い。

#### (5)学部別相談票記入状況 (小数点第一位を四捨五入)

	学部	件数	単純増減数	全体比(%)
新座	コミュニティ福祉学部	160 (215)	-55	24 ( 26)
池袋	文学部	147 (166)	-19	22 ( 20)
池袋	社会学部	77 ( 81)	-4	12 ( 10)
新座	観光学部	65 (112)	-47	10 ( 13)
池袋	法学部	52 ( 75)	-23	8 ( 9)
池袋	経済学部	51 ( 32)	19	8 ( 4)
新座	現代心理学部	45 ( 66)	-21	7 ( 8)
池袋	経営学部	19 ( 14)	5	3 ( 2)
池袋	理学部	17 ( 26)	-9	3 ( 3)
池袋	異文化コミュニケーション学部	16 ( 30)	-14	2 ( 4)
	その他(大学院・研究生)	9 ( 17)	-8	1 ( 2)
	総計	658 (834)	-176	-

相談票記入者を学部別に集計した結果である。2018 年度同様、コミュニティ福祉学部、文学部の学生が多く相談に来ている。人数が減少した理由として、教職課程の学生の来室減少やコミュニティ福祉学部の授業との関わりが減ったことが考えられる。2019 年度は、広報により重点を置き、その成果は徐々に出てきている。

#### (6)参加希望が多かったボランティア団体ランキング

	団体	分野	情報提供数
1	特定非営利活動法人 NICE	国際	42
2	一般社団法人 彩の国子ども・若者支援ネットワーク	教育	38
3	豊島区立中高生センタージャンプ東池袋・長崎	教育	33
4	特定非営利活動法人 グッド	国際	32
5	一般社団法人 国際教育交換協議会 (CIEE)	国際	27